

## 夢アイデアで地方創生が成功した！ —30年後の日本列島の姿—

2050年、政府は内外に向かって、長年苦しんできた過密・過疎、少子化傾向に歯止めがかかり、国難を克服したと、高らかに宣言した。かつて過疎に苦しんだ各地は、生き生きと蘇り、若人は希望を胸に、はつらつとした日々を送っている。合計特殊出生率も2.3まで回復し、その傾向は極めて堅実な歩みを続けている。かつては、時の内閣のプロパガンダと思われていた地方創生が成功したのである。いったい何があったのだろうか。

平成の世が終わるころ、少子化、過疎化、ともに厳しい傾向を示していた。だがトレンドを逆転させる試みはあちこちにあった。その中で、ひと際異彩を放つプロジェクトがあった。“市民の夢アイデアは究極の資源”（夢アイデアホームページコラム）という哲学に基づく夢アイデアプロジェクトだ。夢やアイデアを資源として社会開発を試みるユニークな取り組み。15年を経過してプロジェクトの有効性も確認され、いよいよ普及期に入ったのが平成時代も終わるころであったという。

「文化は西から」といったりするが、現代においてもしばしば起こる。それは九州に始まった。九州地域戦略会議は九州知事会と九州・山口経済連合会（九経連）の官民協働の活動体だ。この会議が、夢アイデアプロジェクトに着目した。

夢アイデアプロジェクトの隠れた効用の一つに、参加者の人的ネットワークの飛躍的拡大が挙げられる。実は、夢アイデア応募案件の審査委員のひとりが九経連の役員さんだった。「九州の開発や課題解決にもっと活用できるのではないか」というひらめきの具体化が、まち興し事例の発表、表彰会だった。九州地域戦略会議のリードのもとに、各県知事が、傘下の市町村に応募を奨励し始めたために、首長自ら率先するところとなり、あたかも基礎自治体のアイデアコンペティションの様相を呈してきた。発表内容には多くのヒントがあるため自治体にはとても好評で、いいアイデアは積極的に施策に取り入れられるようになってきた。関心が高まるにつれ、まち興しのコンクールへと発展し、誰もが楽しむ「九州まち興し祭典」という九州の一大イベントに成長した。

一方、各自治体は、コンクールの表彰台に立ちたい想いもあって、こぞって市民の夢アイデアの発掘と実現化に力を注ぐようになった。その裏には、夢アイデアプロジェクトから生まれた「社会資本コンサルテント士」の活躍があった。市町村に出向いてアドバイスをしたり、施策の具体化を手伝ったりするのだ。こうして競い合うことで切磋琢磨し、良質のアイデアはほとんどの自治体が制度化するというスタイルが定着していった……。

この手法が全国的な反響を呼びおこし、茶の間の人気番組「我がまち興し自慢コンクール」となった。全国9ブロックでコンクールを開催し、上位入選者が全国大会で競うのだが、それだけではなく、政策化可能性についてプロがフォローするシステムも政府内（総理府、国交省、厚生、農水省等）に完備している。

夢アイデアプロジェクト担当者がスタート当時を振り返っている。

「地域おこしの様々な工夫があるのに途中で挫折したり他に伝わらずに应用もなく消えたりしていましたね。せっかくのアイデアなのにもったいない。資源をむざむざ捨てているわけですから……。そこでアイデアや実践の足取りを“保管し、活用し、育成する”、これを社会システムとして継続して取り組んでみよう、そう思い立ったのです。アイデアを生み出すことを楽しみながらやってみましょうと……」この気持ちが戦略会議のメンバーにも共感を呼んだ。ノウハウは、夢アイデアプロジェクトのメンバーが全面的に提供し、イベントに至るまで自らが汗をかいたという。

射幸心を金一封でおおるやり方なので、誰もが夢アイデアという資源の開発に努めるようになった。全国的に関心が高まり、アイデアを求める自治体が、町の課題解決の施策にするための処方箋アイデアを募ったりした。

石油資源の高騰は石油依存からの脱却を産業界と国民生活に強いた。燃料のみならずプラスチックなど精製品も縮減を迫られ、それが竹林や人工林の間伐材利用を促進した。結果として、山林資源の循環が自立圏域を育成し、耕作放棄地活用による市民皆参加型の農業が地産地消を促し、子ども食堂は市民食堂へと変身し、高齢者の孤独もなくなってきた、という循環性の社会システムが地に着き始めた。

首都圏対地方圏という対立的な図式ではなく、それぞれの自生圏域の確立へと政策努力がなされた。老子の思想ではないが、何よりも自然性が希求され、結婚も子育てもヒトの自然な営みとして定着して、今日を迎えたというわけである。

グローバリゼーション、市場原理主義という強者の論理から、誰もが主人公のローカリズムと母性原理が復活し、再び日本列島に、いな、世界の国々に、風土に沿う「野の花の文明」が蘇りつつある。それが21世紀半ばの地球の風景だ。



↑ 耕作放棄地の再生作業



↑ ラダックの子守役はおばあちゃん